

地震にそなえる、家作り

すみだ耐震補強フォーラム 2006

報告書



日時：平成 18 年 2 月 11 日 13：00～18：30

場所：墨田区曳舟文化センター レクリエーションホール

主催：社団法人 東京都建築士事務所協会 墨田支部

すみだ耐震補強フォーラム2006

参加団体一覧

主催

社団法人東京都建築士事務所協会墨田支部

共催 (敬称略・順不同)

墨田建築設計協同組合
全建総連東京土建一般労働組合 墨田支部

墨田建設業協会
墨田建設産業連合会

後援 (敬称略・順不同)

墨田区
財団法人 墨田まちづくり公社
特定非営利活動法人 東京いのちのポ-ルサイト
すみだマンション管理組合ネットワーク
墨田区 手をつなぐ親の会
社団法人 東京建築士会

東京商工会議所 墨田支部
全国建設労働組合総連合
社会福祉法人 墨田区社会福祉協議会
墨田区異業種交流グループ連絡会議
社団法人 東京都建築士事務所協会

協賛 (敬称略・順不同・五十音順)

(平成 18 年 2 月 11 日現在)

アサヒビール 株式会社
株式会社 東あられ本舗
株式会社 アルティマ
株式会社 アンデン東京
五十嵐製箱 株式会社
出雲カーボン 有限会社
江戸川木材工業 株式会社
岡建工事 株式会社
株式会社 岡本工務店
オキナ 株式会社
株式会社 勝美工務店
上條建設 株式会社
株式会社 キーテック

グランデータ 株式会社
株式会社 ケアズ・コーポレーション
株式会社 構造システム
構造品質保証研究所 株式
社
サイタ工業 株式会社
サカモトパイル 株式会社
株式会社 住宅構造研究所
株式会社 シェイク・EIS研究所
株式会社 大佐
大正建設 株式会社
東京東信用金庫
株式会社 東京ガス

東京電力 株式会社
東武谷内田建設 株式会社
トステムホームビル 株式会社
株式会社 日本衛生センター
株式会社 日本自然緑化
野島木材 有限会社
株式会社 パル
株式会社 日立ビルシステム
福井コンピュータ 株式会社
前川建設 株式会社
丸源飲料工業 株式会社
三谷セキサン 株式会社

協力 (敬称略・順不同)

平塚耐震補強推進協議会
東武鉄道 株式会社
京成電鉄 株式会社
東京地下鉄 株式会社

墨田区老人クラブ連合会
ワコウ・ワークス・オブ・アート
エアワークス

協カメディア (敬称略・順不同)

日本放送協会(NHK)
さくらケーブルテレビ
朝日新聞社
読売新聞社

東京新聞社
建通新聞社
墨田区民新聞
新建新聞社

目 次

1 . まえがき	4
2 . プログラム	
(1) 第一部 無料耐震相談	5
(2) 第二部 フォーラム	5
①開 会	5
②主催者挨拶	5
③来 賓 挨拶	6
④特別基調講演「なぜ耐震補強をいそぐのか!？」	7
⑤シンポジウム I パネルディスカッション	7
「どうする?すみだの耐震補強—	
墨田のまちを守るために、今何をするべきか?」	
⑥シンポジウム II-①「実例 耐震補強の実際」	9
⑦シンポジウム II-②「耐震補強の実例紹介」	9
⑧フイナーレ 木谷正道氏のギター演奏による「故郷」の合唱	10
⑨閉 会 宣 言	10
(3) 耐震改修技術展示相談会	11
(4) 資料: 安井潤一郎氏による特別基調講演全文	12
3 . アンケート集計結果	14
4 . 建通新聞記事	20



会場の様子—200名以上の来場で、大盛況となりました。



1. まえがき

拝啓 向春の候、ますますご清栄のことと存じます。平素の御厚誼に深く感謝いたします。

さて、過日開催されました「すみだ耐震補強フォーラム 2006」の際には関係者の皆様にお力添えをいただきまして、当日には 230 名を越える参加をいただき、盛況の内に行うことができました。ご賛同いただきました各団体、企業の皆様に厚く御礼申し上げます。また、墨田区長様はじめ、関係者の皆様には、力強いご支援やお話をいただきましたことを心より御礼申し上げます。

今回のフォーラムでは、耐震補強の緊急性や重要性を現実的にお伝えできたのではと考えております。このフォーラムをきっかけに木造密集地域の耐震補強工事が進みますことを願って止みません。そして当協会墨田支部としましては、少しでも多くの耐震補強工事のお手伝いをさせていただき、ひいてはまちづくり、地域のコミュニティづくりにお役に立てればと願っております。今後共変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。まずは、略儀ながら書面をもちまして御礼申し上げます。

敬具

平成18年2月吉日

社団法人 東京都建築士事務所協会墨田支部 支部長 鳴海 義一

2. プログラム

(1) 第一部 無料耐震相談 13:00～14:00、17:30～18:30

建物の耐震相談を希望される方には、その建物の図面や建築確認書類などの資料を持参いただき、建築士による相談会が行われました。限られた時間ではありましたが、7件の相談が寄せられました。

(2) 第二部 フォーラム 14:00～17:30

～オープニングに阪神淡路大震災の再現映像～

①開会 都祭 芳明 氏

みなさんこんにちは。ただいま平成7年1月11日の早朝に起こった阪神淡路大震災の被害の再現映像を見ていただきました。この被害は、大地震のたったの3～4秒間の間に起こったものなのです。本日は、補強工事がどういったものなのか、どのような必要性があるのかを墨田から発信するため、すみだ耐震補強フォーラム2006を始めさせていただきたいと思います。

②主催者挨拶 鳴海 義一 氏

本日はご多忙にも関わらず、すみだ耐震補強フォーラム2006にご参加頂き、大変ありがとうございます。震災がどこでいつ起こるかという予期は、大変難しいものであります。しかし、現在大地震がいつ起こっても不思議ではないという情報が伝えられておりますが、現状ではなかなか建物の耐震化、耐震補強が進みません。

これを素早く、広く進めていこうというのが、今回のフォーラムの趣旨でございます。フォーラムのチャッチフレーズに『地震がきてからわかるのは失った悲しみですか。守られた喜びですか。』とありますが、地域住民の方々に耐震補強の重要性、必要性を少しでもご理解いただき、補強を試みようと思う方が一人でも出ていただければ幸いと存じます。

今回のフォーラム開催にあたりまして、共催、後援、協賛をして頂いた方々、ご支援、ご理解に厚く感謝申し上げます。これからも地域の方々と力を合わせて、災害に強いまちづくりに協力していく所存でございますので、ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。簡単ではございますが、主催者の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。



鳴海支部長

③来賓挨拶 墨田区長 山崎 昇 氏

近年、首都直下型の切迫感が言われていますが、墨田区では木造住宅、狭あいの非常に多い地域で、大変な被害が心配されています。そのようなわけで、これまでは「燃えないまちづくり」として建物の不燃化を推進して参りましたが、おかげさまで建物の不燃率は60%～70%を超えました。これからは「壊れないまちづくり」として建物の耐震化をめざし、耐震補強制度を進めて参ります。

また、昨年には構造計算の偽装事件が明らかになりましたが、この墨田区でも耐震偽装マンションが発見されました。事件発覚後、建築基準法改正の昭和56年以後に建てられた新耐震基準の建物であっても耐震性の危ない建物があると受け、昭和56年以後に建設されたマンションの相談なども区民の皆様から多く寄せられるようになりました。今回のフォーラム主催者である建築士事務所協会には、現在そういった相談も受け付けてもらっています。

また今年の4月からは、墨田区でも昭和56年以後建設されたマンションについても耐震診断にも助成制度を行うことになりました。これからも安全、安心の街をめざしたまちづくりを行って参りますので、皆様にもご協力をお願い申し上げます。フォーラム開催に際しまして、主催の建築士事務所協会墨田支部をはじめ、共催、後援そして協賛していただいた多くの各団体・企業様に感謝を申し上げます。（一部、抜粋させていただきました。）



山崎区長

④特別基調講演「なぜ耐震補強をいそぐのか!？」 14:20~14:50

安井 潤一郎 氏

特別非営利活動法人東京いのちのポータルサイト理事長
早稲田商店会会長、衆議院議員

<要旨> 全文は12ページに掲載されています

安井先生は、非営利活動法人東京いのちのポータルサイト理事長を務められ、早稲田商店会会長であり、この度衆議院議員になられました。議員として牛肉BSE問題に取り組まれる中で、牛などの動物たちから人は毎日命をもらって生きていることを改めて考えさせていただき、命の大切さ、ありがたさについてお話いただきました。

また、大地震が来ても簡単に命を投げ出すのではなく、まちで連帯して耐震補強工事を進めていくまちづくりの必要性について教えていただきました。



安井 潤一郎 氏 (特別非営利活動法人東京いのちのポータルサイト理事長、早稲田商店会会長、衆議院議員)

⑤シンポジウムI パネルディスカッション<要旨> 15:00~16:10

「どうする? すみだの耐震補強—墨田のまちを守るために、今何をすべきか?」

【コーディネーター】

木谷 正道 氏 (平塚耐震補強推進協議会副代表、東京都総務局務担当部長)

パネラーそれぞれの持ち味を十分に引き出して、率直な意見交換の場をつくっていただきました。「明日、大地震が来たとしても倒壊しないように、今日発言してください」という言葉に、パネラーの皆さんも息を飲みながらの発言となりました。また、木谷氏独特のやさしさと緊張感で「命の大切さ」「今始めれば、間に合うかもしれない」といった志を盛り込んでいただきました。

【パネラー】

澁谷 和久 氏 (国土交通省都市整備局都市計画課開発企画調査室長)

首都圏直下型地震のメカニズムや危険性を解説していただき、大地震が起きたときに倒壊する恐れのある建築がいかにか多いのか、また国土交通省としての防災への取り組みをご紹介いただきました。地域レベル、コミュニティ、商店会などから行政への注文があれば提案をしてもらいたいとお話いただきました。

渡会 順久 氏 (墨田区都市計画部長)

墨田区の被災や防災活動の歴史から、今後の取り組みについてお話いただきました。墨田区の耐震改修助成制度は、既存不適格の強度1.0に満たない工事や墨田区に多い借地・借家人でも助成申請が緊急対応地区に重点化を置くことがポイントと、墨田区の立場からわかりやすく解説していただきました。

山極 武久 氏（東京土建墨田支部書記長）

東京土建では、地域に根ざした取り組みとして、手すりの取付など様々なボランティア活動を行い、墨田で住民が「安心して住み続けられるまちづくり」を目指す活動をしています。

墨田区のせつかくのよい制度をより使いやすい制度にするため、区民のみなさんに災害の認識を改めて実感していただきたい。申請に必要な書類などはまだまだわかりにくく、慣れない区民の方のために使い勝手について考えていきたいとお話いただきました。

伊川 哲夫 氏（墨田建築設計協同組合代表理事）

原点に立ち返り、家族にとって安全であることを今一度思い直してみたい。財産と命を守る1.0の基準にこだわらず、命だけでも守る1.0未満の数値でも耐震補強を急ぐべきだ！と力強く説得力のあるお話をさせていただきました。

鳴海 義一 氏（社団法人 東京都建築士事務所協会墨田支部長）

墨田区の特殊性（新耐震基準以前の木造建築を多く抱えている）は地元墨田の専門家の最もよく知るところで、今日のすばらしい新制度をより現実に即したかたちで活用を場を広めていくことが重要だと考えています。



パネルディスカッションの様子



⑥シンポジウムII...「実例 耐震補強の実際」

木造住宅耐震改修促進事業～木造住宅の耐震改修工事費用の助成～ 16：20～16：30

渡会 順久氏（墨田区都市計画部長）



⑦シンポジウムII...「耐震補強の実例紹介」 <要旨> 16：30～17：25

【コーディネーター】

都祭 芳明 氏（社団法人 東京都建築士事務所協会墨田支部副支部長、耐震診断評価委員長）

【パネラー】

榎本 武光 氏（東京東部法律事務所所属弁護士）

榎本氏は、住宅問題についての法律に特に詳しく、墨田区の新制度での所有者以外の借地借家関係でも活用できる制度についての注意点についてご指摘をいただきました。

佐久間輝雄 氏（東京土建墨田支部 技術対策部長）

佐久間氏は、墨田区の家具転倒防止取り付け助成事業等での技術指導をしていらっしゃいます。今回はその家具転倒防止取り付けと耐震補強の事例を写真などでわかりやすく紹介してくださいました。

川島 将克 氏（東京土建墨田支部 一級建築士）

川島氏は、1月に放映されたクローズアップ現代で紹介された耐震診断と補強計画を建築設計士として手がけている方です。今回は耐震補強の事例を写真などでわかりやすく紹介してくださいました。

佐原 昭 氏（社団法人 東京建築士事務所協会墨田支部 耐震委員長、墨田建築設計協同組合副理事長）

長い間耐震診断に従事する中で、特に「命を守るための補強」に力を注ぎ、ベニア板一枚でも家の補強が始められることを提唱している構造設計士です。

宗像 信司 氏（社団法人 東京建築士事務所協会墨田支部副支部長）

事務所協会として耐震診断補強を進めてきました。これまでの耐震補強の事例を紹介しました。



⑧ファイナーレ 17:10～17:20

木谷 正道氏 木谷氏のギター演奏による「故郷」の合唱

「いつか大地震が来て、自分がもし生きていたとき、自身の地元である平塚でこの唄を歌いたい・・・」という思いを込めて木谷正道氏に熱唱していただきました。行政や市民の立場によらず、参加者全員で合唱しました。



合唱する参加者



木谷氏

⑨閉会宣言 17:20～17:30

稲場 稔 氏（社団法人 東京都建築士事務所協会墨田支部 副支部長）

本日は、長い間お付き合いいただきまして本当にありがとうございました。本日のフォーラムは、地元墨田の協力業者様、団体様のご協力をいただきまして、無事に開催することができました。この場をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。

そしてご共催いただきました東京土建墨田支部を始めとする各団体様、また墨田区をはじめとする各後援団体様、御協賛いただきました各団体様に改めて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

ただいまをもちまして、すみだ耐震補強フォーラム2006の閉会宣言とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。



稲場氏

(3) 耐震改修技術展示相談会 17:30~18:30

出展団体 (20団体、敬称略・順不同五十音順):

- ・ 株式会社 アルティマ
- ・ 株式会社 アンデン東京
- ・ 出雲カーボン 有限会社
- ・ 江戸川木材工業 株式会社
- ・ 株式会社 キーテック
- ・ 株式会社 ケアズ・コーポレーション
- ・ グランデータ株式会社
- ・ 構造品質保証研究所 株式会社
- ・ 株式会社 ジェイビーエス研究所
- ・ 野島木材 株式会社
- ・ 非営利活動法人 東京いのちのつなぐ会
- ・ 株式会社 東京ガス
- ・ 東京電力 株式会社
- ・ 東京土建墨田支部
- ・ 社団法人 東京都建築士事務所協会墨田支部
- ・ トステムホームウエル 株式会社
- ・ 株式会社 日本衛生センター
- ・ 株式会社 パル
- ・ 平塚耐震補強推進協議会
- ・ 福井コンピュータ 株式会社

展示コーナーの様子



(4) 資料 : 安井潤一郎氏による特別基調講演「なぜ耐震補強をいそぐのか! ?」 <全文>

安井潤一郎 氏

特別非営利活動法人東京いのちのポータルサイト理事長
早稲田商店会会長、衆議院議員

<特別基調講演内容>

私は昨年9月11日の選挙にて衆議院議員になってまだ5ヶ月ですが、それまでは早稲田商店会の会長をやっていました。自分の商店会は、早稲田大学を取り囲み、夏場は人口が半分になることで商店会では街の活性化を図り「環境」を切り口にまちづくりを行ってきました。この活動をお聞きになった神戸・長田地区の商店会が11年前の阪神淡路大震災での復興のために視察、見学に訪れました。

神戸の街も今は表通りには新しいビルも建ち、きれいになりましたが、ひとつ裏の路地に入ると更地のままのところはまだ多くあるようです。お店を出すのもなかなか時間がかかり、知っているお茶屋さんには9年もかかったと言われました。しかしそんな中でも、震災以前から地域活動をしていた地域では、復興が進んでいると言われていました。

「地震だ火を消せ! そんなの無理だ」という話があります。いざ地震が来ても、実際には火を止めている余裕などはなく、部屋の中はテレビが飛び、パソコンは壁を突き抜けて落ちていく、それが実際の地震のエネルギーであります。

皆様には自分の街は、役所に任せずに「自分で守る」ということをわかっていただきたいと思います。阪神淡路大震災で亡くなられた方の約8割が圧迫死であり、その他は焼死です。焼死でも生きたまま死んでしまったのです。逃げられれば逃げたのでしょうから、やはり家が人を殺したことになると思います。

私は耐震補強工事の公共事業化を求めておりましたが、必要な建物が3万件の内、実際に耐震補強工事が行われたのが1件しかなかったのです。これは一体どういうことなのか、周りの皆さんに補強工事を行いたいかどうか聞くと、「人間所詮死ぬんだよ」といわれました。それはあまりにも今生きていることに対してのありがたみを感じていない、生きている楽しみを見つけていないと思います。死んでたまるかという街をつくらなければいけないのだと思います。行政やアカデミックな組織や建築士事務所協会、建築士、建設業の皆さんなど、それぞれの業種、業態の中で耐震補強のためにやれることがあるのではないかとお考えいただければと思います。

私は議員になってから、牛肉のBSE問題に関わっています。米国から来た牛を12月に解禁し、1月に一部骨の付いた牛が入ってきたため、すべてを廃棄処分にしてしまいました。危険な牛肉が国内に輸入されたといわれましたが、BSEとはタンパク質が突然変異を起こして、隣のタンパク質も同じようにしていくということで細菌やバクテリアなどではないのです。タンパク質の異常プリオンが蓄積され

る箇所は目、脳、脊髓、回腸というところで、フグと同じで危険な部位を除去すれば全く問題なく牛肉は食べられます。それならば、なぜこんなに不安感が起こっているのかと考え、早稲田の商店会で肉屋でもある私は、22人の衆議院新人議員の皆さんを芝浦の屠殺場(家畜類を殺す施設)へお連れしました。実際に屠殺場に行き、彼らにとって最も印象の強かったことは、牛たちが屠殺場に入れられていくところだったようです。

生きるということは、その牛の命をもらうことなのです。牛だけでなく、すべてのものの命をもらってまでも、私たちは生きています。ただ骨がついていたからといって「危険な牛肉」と言って捨てるなど、この牛たちは捨てられるために自分の命を放り出したのではないのです。この牛たちが投げ出してくれた命を我々はもらって生きています。先ほどの「人間所詮死ぬんだ」という思いですが、冗談じゃないといたいのです。もっと自分が生きていることに真摯に向かい合わなければいけないと思うのです。このような思いの中で、この防災の問題に取り組んでいるところであります。

山崎区長のお話にもありましたが、昨年の構造計算偽装問題の件で、私は民間の建築確認検査機関イーホームズの藤田社長にヒアリングを行いました。ヒアリングの中で「偽装されていることは分からなかったのですか」という私の質問に対し、「構造の計算ソフトが改ざんされていたから分からない。安井先生はレントゲンを撮るのにレントゲン機械を調べてから撮りますか」といった開き直りの様子でした。

今後、色々な形で法改正が行われていくと思いますが、私はこの問題は建築基準法の問題ではなかったと思います。倫理館の欠如、道徳観の希薄によって引き起こされた問題だと思います。「恥ずかしい」や「みっともない」という気持ちを持っていたこの国が、どうしてこんなことになってしまったのでしょうか。ここにこそ、まちの人間がやれる大きな仕事があると皆様にはお気づきいただければと思います。今日は限られた時間とは思いますが、このすみだ耐震補強フォーラムによって素晴らしい実ができて、東京中に拡がりますことを祈念いたします。

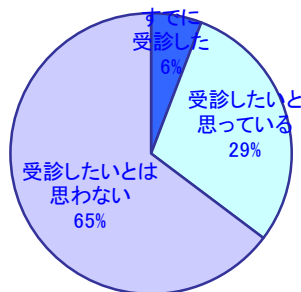
昨年の衆議院議員当選以来、首都圏地震対策議員連盟というものを立ち上げる前に、勉強会を行っていました。東京首都圏で議員の最新情報、最新内容の情報を交換し合い、自分の街の防災を進めています。皆様からの色々なご意見をいただけると幸いです。本日は、ご静聴ありがとうございました。

3. アンケート集計結果

フォーラム当日に来場された方へのアンケート集計結果（平成18年2月17日現在）です。

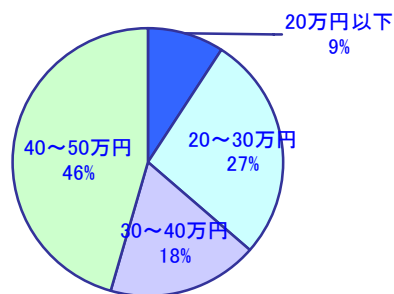
Q1. 今までに耐震診断を受診したことがありますか、また受診したいと思いますか。（該当するものにつけてください）

1. すでに受診した
2. 受診したいと思っている
3. 受診したいと思わない



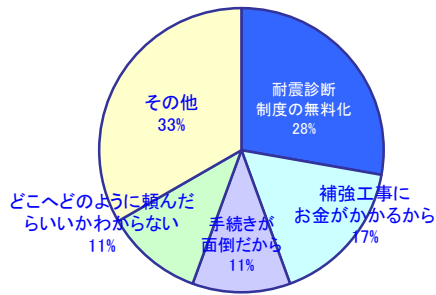
Q1-1. (Q1で1, 2と答えた方) 簡易耐震補強工事を行う場合、どの程度なら費用を自己負担してもよいと思われませんか。

1. 20万円以下
2. 20～30万円
3. 30～40万円
4. 40～50万円



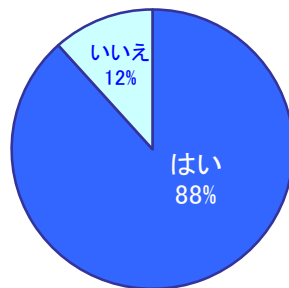
Q1-2. (Q1で3と答えた方) なぜ、耐震診断を受診したくないと思われませんか。次の中から最も近いものを2つまで挙げて下さい。

1. 自分の家は大丈夫だと思っているから
2. 補強工事にお金がかかるから
3. 手続きが面倒だから
4. どこへどのように頼んだらいいかわからない
5. 耐震診断が信用できないから
6. その他 ()



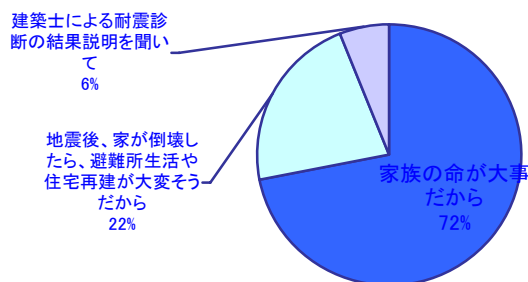
Q 2 . 耐震診断の結果、「倒壊の恐れがある」と判定されたら補強工事を行いますか。

- 1 . はい
- 2 . いいえ



Q 2 - 1 . (Q 2 で 1 と 答えた方) 耐震補強工事を実施する理由は何ですか。次の中から最も近いものを 2 つまで挙げて下さい。

- 1 . 家族の命が大事だから
- 2 . 地震後、家が倒壊したら、避難所生活や住宅再建が大変そうだから
- 3 . ちょうど自宅の改修工事を検討していたから
- 4 . 建築士による耐震診断の結果説明を聞いて
- 5 . その他 ()



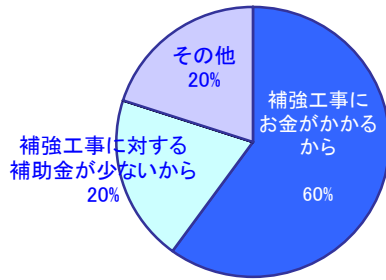
Q 2 - 2 . (Q 2 で 2 と 答えた方) 耐震補強工事を実施しない理由は何ですか。次の中から最も近いものを 2 つまで挙げて下さい。

- 1 . 自分の家は大丈夫だと思っているから
- 2 . 大地震は来ないと思っているから
- 3 . 補強工事にお金がかかるから
- 4 . 補強工事に対する補助金が少ないから

5. 建て替えようと思っているから

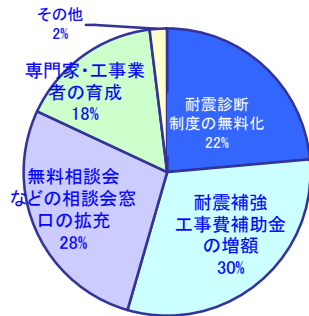
6. 面倒臭いから

7. その他 ()



Q3. 今後、墨田区が住宅の耐震化を進める上で、最も力を入れてもらいたいと思うことは何ですか。次の中からいくつでも挙げて下さい。

1. 耐震診断制度の無料化 2.耐震補強工事費補助金の増額 3.無料相談会などの相談会窓口の拡充 4.専門家・工事業者の育成 5.その他 () 6.特になし・わからない



Q4. 地震や災害のための対策は、何かしていますか。

- ・ 非常用食糧・水の準備。
- ・ 減災のキャンペーンをしようと考え中。
- ・ 墨田区は借地が多く、借地はお金がかかるので、地震対策どころではない。借地の問題を一緒にやってほしい。
- ・ 防災リュックを準備している。
- ・ 家族集合場所の決定・飲料水の確保 (家族一週間分くらいのペットボトル) ・ 多少の非常食保存
- ・ 家具転倒防止装置の設置。
- ・ 常日頃の心がけ。
- ・ 自宅への帰宅マップを持ち歩くこと。
- ・ 非常用の水、ラジオ等を一定の場所に置いて、食糧等は定期的に入れ替える。
- ・ 特に何もしていない。

Q5. 墨田の密集地域についてどのように思いますか。

- ・ 非常に危ないと思う。
- ・ 密集地域のみならず、何とかしないといけない。

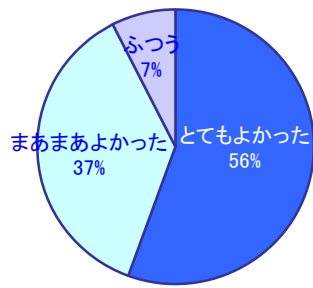
- ・道が込み合っていて分かりづらく、歩くのにも不便。
- ・下町ならではの住宅密集地域だが、地震の後の火事など心配される。
- ・難しい問題だが、まちづくりを進めながら解決していかなければいけない課題だと思う。
- ・心配。
- ・火災が恐ろしいので、密集地にある戦時中の古い建築物は壊してほしい。
- ・仕方ないかと思うが、建て替え等で改善されれば良い。京島辺りのまちづくり改善は必要。
- ・非常に危険だと思う。早期の耐火、耐震化対策が必要。住民の理解を得て、古い木造住宅を取り壊し高層化し、空き地率を向上させるべきだと思う。
- ・再開発した方が良い。
- ・区画整理を進めるべき。
- ・地震後の建物の倒壊や火事で、広範囲に被害が拡大してしまう恐れがある。
- ・細い路地など昭和の懐かしさを感じられてほっとする町並みだと思うが、災害時に避難が困難になることには対策（補強）が必要だと思う。
- ・阪神淡路大震災の時のように、建物が道路へ倒れた場合、逃げ道がなくなり、救助も出来ない状態になってしまうと思う。

Q 6 . 耐震補強を推進するために、自分ができることは何だと思いますか。

- ・1日も早く補強を行う。
- ・少しでも多くの人に過去の教訓をわかってもらうこと。
- ・こうしたフォーラムに参加し、勉強すること。
- ・家の中を見直し、補強すべきところは直していきたい。
- ・区の事業を知らずにいる人々に伝えること。
- ・行政への協力。耐震診断とその結果に基づいた補強工事の実施。
- ・耐震の確認。
- ・PR
- ・補強の大事さを他の人に伝える。
- ・耐震補強の大切さを理解して実行する。
- ・区の制度をよりよいものとするために意見を言い合い、研究していきたい。

Q 7 . 今回の「すみだ耐震補強フォーラム」はいかがでしたか。当てはまるところに○を付けてください。

- 1 . とてもよかった（理由など： _____)
- 2 . まあまあよかった
- 3 . ふつう
- 4 . あまりよくなかった
- 5 . よくなかった（理由など： _____)

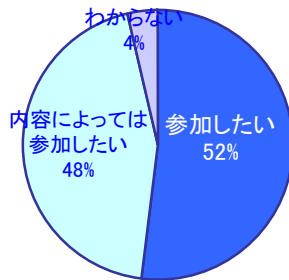


◇理由◇

- ・緊迫感が伝わってきた。業者の取り組みも素晴らしい。
- ・自分自身の心構え、見方を変えることが出来たから。
- ・木谷さんの歌感動的でした。
- ・本質の大切さを強調されたので。
- ・基調講演が良かった。
- ・安井さんの話と各工法の多彩さと、皆様（工法の人達）のまじめさ。
- ・地域一体で盛り上がる第一歩だと思う。
- ・熱意が伝わってきた。

Q 8 . 次回もこのような機会があったら、参加したいと思いますか。

- 1 . 参加したい（理由など： _____)
- 2 . 内容によっては参加したい
- 3 . 参加したくない（理由など： _____)
- 4 . わからない



◇理由◇

- ・全国に参考になるのなら、紹介していきたいから。
- ・時間の都合で例を聞き損ねました。

Q 9 . 今回の「すみだ耐震補強フォーラム」に参加して思ったこと、感じたことなどを自由にご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

- ・ 課題はいろいろとありますが、第一歩以上の一歩を踏み出された感じがしました。ますますよい制度になるよう期待しています。
- ・ 自分の中で、新しい知識、ものの見方を得ることができた。非常に有意義な時間でした。
- ・ この問題が切実かつ緊急の課題だと痛感しました。
- ・ 明日にも今にも地震が来てもおかしくない事を学んだ。
- ・ とにかく家の壊れが一番恐ろしいので、50年以上の弱い家は建て直すように強制してほしいと思います。
- ・ 準備等ご苦勞様でした。大変勉強になりました。もう少し、一般の方とパネラーの方との質問タイムがあってもよかったと思います。
- ・ 自分のことは、自分で守ることだと思います。
- ・ コーディネーターの方の話の進め方が良かった。
- ・ 官民が一体となった取り組みに感心した。踏み込んだ条例にも驚いた。
- ・ 私も潰れて死ぬしかないと思っていましたが、そうではないことに気づかされました。
- ・ 今後、耐震について、社会的に認識を強くする必要があると思った。
- ・ 相談コーナーは、プライバシーを守れるようにパーティションで囲った方がいいと思った。

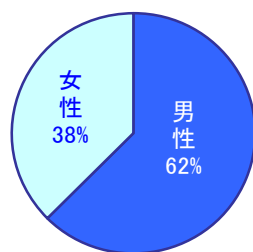
- ・協賛社のPRの時間がなかった。
- ・素晴らしかった。
- ・行政と民間の方たちが協力して、耐震補強を推進していることがよくわかった。こうした制度を利用していききたい。
- ・建築士事務所協会と墨田区との関係がよくわからないので知りたい。
- ・墨田区の制度をもっと区民や多くの人に知ってもらいたい。
- ・時間が少し長すぎた。
- ・専門家の話にわかりにくいところがあった。
- ・阪神淡路大震災の映像を見て、地震の恐ろしさを改めて感じました。

Q10 . この内容について、もっと知りたいと思ったことはありますか。また疑問に思ったことがあれば、具体的にご記入ください。

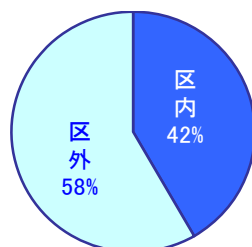
- ・希望ですが、事例をHPでも公表して行ってほしい。もちろん金額も工法も。オープンになれば他地域でも取り組みが進んでいくと思います。
- ・目前に迫っていてもなかなか行動に移せていない。簡易的になれば区の補助によって補強が出来ると聞き、利用してみようと思いました。
- ・利用しにくいといわれた区の制度、今後どのように変えていくのか。最終的に個人が動かなければいけないが、その中で行政ができることは何か。
- ・建物だけで大丈夫か？看板、エアコン、室外機、水道、ガスなど地震が来るとどうなるかすごく気になる。耐震補強をしても、出入口の看板などが落下したらすごく危険！誰がチャックするのか。屋上にガスエンジンエアコンの重そうな室外機が何台かありますが、エアコン屋さんが勝手に置いたので、構造的に大丈夫なのかすごく心配。
- ・M7に耐えられる理想の家は、どのような構造にすれば良いのか、鉄筋、鉄骨、木造に分けて知りたいです。
- ・耐震診断して補強した物件が地震で壊れたとき、誰が責任を負うのでしょうか。地盤からきちんとしないで良いのでしょうか。液状 もまた同じ。
- ・助成金について (申込方法等)
- ・補強工事の種類について

Q11 . アンケート回答者の属性

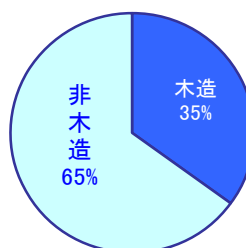
性別



住まい



住まいの構造種目



年齢

